

人間のためでもある建築

曾我部・吉岡研究室 谷本優斗

研究概要：人間のためだけに作られてきた建築の対象を生物へと変換することで建築のあり方を再構築する。生物たちの習性から空間を創出し、建築へと昇華することで人間は後者でありながら、建築へ関わる余地が与えられる。主体となる生物たちの存在、活動が建築に変化を及ぼし、些細な変化も可視化する。そうして彩られる建築が、人間を含めたあらゆる生物の拠り所となることを期待する。

研究目的：建築の主体を人間以外の他者へ置き換えることでの建築のあり方、人間と建築との振る舞いの再考



苦労した点や感想など：

設計に入る前段階である、ストーリーや、リサーチの部分で何度も行き来しながら進めていくことにとっても苦労しました。図面や模型などの成果物に関しては、学校に入れる時間が限られたり、うまくいかないこともあり苦労しましたが、自分の中でやり切れたと感じているので、楽しめたようにも感じています。